

第3回上北地区統合校開設準備委員会における主な意見

1 校名案の方向性について

【各委員からの意見】

- 意見なし

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 各委員から提案のあった校名案候補4件（三本木アグリフロンティア高等学校、三本木拓生高等学校、三本木農業高等学校、三本木農業恵拓高等学校）について意見照会を行うこととし、その方法については事務局案のとおり進め、詳細については委員長に一任する。

（参考：意見照会の方法（事務局案））

- 意見の募集期間
令和元年10月1日（火）～10月30日（水）
- 意見の募集方法
県教育委員会ホームページ上に開設する入力フォーム、郵送、FAX
- 意見の応募資格
制限なし
- 求める意見内容
上北地区統合校の校名としてふさわしいと考える校名案候補及びその理由

2 校訓の方向性について

【各委員からの意見】

- 校訓は新たに制定した方が良い。各校の校訓には、「自律」や「自主」など重複しているものもある。また、四字熟語で表している校訓も意味が似ているものもある。
- これまでの校訓にとらわれずに考えれば良い。新しい校名案候補として「拓生」や「恵拓」などがあるため、この「拓」と三本木農業高校の校訓でも用いている「協同」を組み合わせたような校訓ができないか。また、親子兄弟といった人間関係が希薄化している社会の現状を考えると、校訓にきずなや親子愛という観点を取り入れてはどうか。
- 上北地区統合校は学科が農業科と普通科になるので教育内容が若干変わることであり、これから求められる人財というのも当然時代とともに変わってくるので、新しい校訓を制定した方が良いのではないか。
- 校訓は新しくした方が良い。自分の高校の校訓を一生思って生きていくことができるような分かりやすい校訓が良いのではないか。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 校訓は新しい学校の教育目標に沿ったものを新たに制定する方向で検討を進めてもらいたい。

3 校章の方向性について

【各委員からの意見】

- 現在の三本木農業高校の校章に、十和田西高校及び六戸高校の校章にもある「高」を配置したら3校に共通した校章になるのではないか。
- 三本木農業高校の校章であるクローバーが3枚並ぶ形が3校の統合に合うと思ったので、従来の校章に新たな解釈を付け加えることで、十和田西高校と六戸高校の特色を加えることになるのではないか。
- 三本木農業高校の校章のままでも特段問題は生じないとも思うが、統合校になるので、対外的なことも含めれば、この校章に変化を求めることも必要ではないか。
- 三本木農業高校の校章に新たな解釈を付け加えるという考えはとても素晴らしい。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 校章は三本木農業高校の校章をベースにデザインや解釈に修正を加える方向で検討を進めてもらいたい。

4 校歌の方向性について

【各委員からの意見】

- どの校歌も素晴らしいが、校歌は新しいものにした方が良い。三本木農業高校で農業を学んでいる生徒にとっては、三本木農業高校の校歌で十分良いと思うが、普通科の生徒への配慮もあっても良いではないか。校歌は新しくして、例えば最初の2年間は2つ歌うなどの対応は考えられないか。
- まずは新しい校歌を作って、力強い三本木農業高校の校歌をどのような場で歌うのか新たに検討すれば良いのではないか。
- 捨てがたい3つの校歌なので、これを存続させながら、今の生徒の音楽や言葉のセンスに合った新しい校歌を制定した方が良いのではないか。3校の校歌について場面によって取扱いを決めていけば良い。新しい校歌を作る場合の制定方法は開設準備室で検討すれば良い。
- 青森県を代表する三本木農業高校に手を加えるわけにはいかないという思いが強い。新しい学校だから校歌を変えるべきという意見には同調できない。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 校歌は3校の校歌を残し斉唱する場面を検討しつつ、新たな校歌を制定する方向で検討を進めてもらいたい。

5 制服の方向性について

【各委員からの意見】

- これから観光、農業に特化していくということで、ネクタイを締めていると観光客等へも案内しやすく、学生服よりは少しは格好が良いと思う。十和田市内の高校の制服は大体似たような制服なので、特色を出すという点では、多少デザインが変わっても、十和田西高校のようなブレザー、ネクタイのスタイルが良いのではないかと。
- ネクタイにあまりこだわらない方が良いのではないかとと思うが、制服を新しくするか否かについても、こだわるつもりはない。
- 男子の制服は全国的にもブレザーか学生服であり、この場でどちらが良いか判断できないので、開設準備室で検討すれば良い。女子については、新たなデザインで進めていけば良い。また、3校の制服は制定当時の生地がそのまま使われているが、現在の夏服は、生地の素材が変わっているほか、デザインも変わってきているので、これらのことを踏まえ、現在の女子生徒にふさわしいような制服にしていくと良い。
- 男子の制服については、ブレザーと学生服のどちらが良いか、私も分からない。女子生徒は制服が可愛い高校へ進学したいということもあるため、女子の制服については、新設校であり今までとは教育内容が変わることを示す意味でも、また、生地の効用の面からも新たに考える必要がある。例えば生徒から「どのような制服が良いか」といったアンケートを取り、それを踏まえデザイナー等に頼んで作っていただければどうか。
ただし、制服については早く決めないと取扱店の対応が間に合わなくなると思うので、早めに準備を進めていただきたい。
- 男子の制服については、三本木農業高校は海外の高校との国際交流が進んでいるし、統合校においても世界各地に出るという機会が多くなると思われる。国際的な視点からの活動を考えれば、ブレザー、ネクタイの方が良いのではないかと。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 男子の制服はブレザー、学生服のどちらにするか検討した上で既存の制服から変更するかどうか検討し、女子の制服は新たな制服を制作する方向で検討を進めてもらいたい。

6 統合対象校の記念物品の展示について

【各委員からの意見】

○ 現在のままでは展示スペースはないが、校舎の改修等により生徒の玄関ロビーや渡り廊下などにスペースが確保できれば、3校の記念物品を校舎内に展示することができると思う。

また、現在、三本木農業高校では、100周年記念会館に歴史的記念物品の展示室を設けているが、この物品も他校のものと合わせて校舎内に置ければ良い。

付け加えて、各学校の校旗、校章、校訓の扁額等については展示するが、学校の卒業アルバムや生徒会誌等については図書室を利用するなど、記念物品一覧の中である程度整理しながら、一か所に限らずに保存すれば良いのではないかと。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

■ 統合校の校舎内に展示する方向とし、展示内容等について開設準備室において更に精査しながら検討を進めてもらいたい。

7 統合対象校の事務の引継ぎについて

【各委員からの意見】

○ 事務引継ぎに関しては、1年早く進んでいる中南地区統合校の例やこれまでも進めてきた統合の流れを踏まえ、同じ形で進めて良い。

また、教育実習については、三本木農業高校では現在でも卒業生にこだわらず毎年10人前後の教育実習生を受け入れている状態なので、今後とも継続していければ良い。

生徒指導要録については保存年限が決まっているので、耐火金庫の置き場所を確保してほしい。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

■ 統合対象校、統合校及び県教育委員会において十分情報を共有しながら、事務の引継ぎを進めてもらいたい。